

ベッド洗浄システム一式 仕様書

平成31年4月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪急性期・総合医療センター

I. 仕様書概要説明

- 1 調達物品
ベッド洗浄システム

1式

以上、搬入・調整等の全ての作業費を含む

- 2 その他、設置条件・サポート体制に関すること。

Ⅱ．調達物品に備えるべき技術的要件

- (1) 本品調達物品に係る性能機能及び技術等(以下「性能」という)の要求要件(以下「技術要件」という)は別途に示すとおりである。
- (2) 技術的要求要件は全て必須の要求要件である。
- (3) 必須の要求要件は必要とする最低限の要求要件を示しており、機器の性能がこれを満たしていないとの判断がされた場合には不合格となり、入札参加決定の際、審査対象から除外する。

1 ベッド洗浄システムについては、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 操作パネルはタッチパネル式であること。
- 1-2 操作パネルのディスプレイはガラスコーティングされたカラー液晶で、表示可能言語は常用漢字、ひらがな、カタカナ、英数字で表示できること。
- 1-3 操作パネルは運転残時間、エラーコードとエラー情報を確認する機能を有すること。
- 1-4 エラーの重要性を考慮した異なる色で注意するマーク表示する機構を有すること。
- 1-5 洗浄槽内の前方及び後方中央にそれぞれ洗浄槽内を照らすハロゲンライトを有すること。
- 1-6 薬液(洗浄剤・すすぎ剤)の残量が少なくなった時に、操作パネルに残量不足のメッセージ、薬液の交換を表示すること。。また、薬液が完全になくなった時には操作パネルに薬液不足エラーが表示され、機器が停止する機能を有すること。
- 1-7 洗浄工程残り時間やエラー発報を遠くより確認できるために、操作パネル上部に円形のインジケーター(12指針の工程表示ディスプレイ)を有すること。
- 1-8 乾燥時間短縮のため、洗浄槽内循環用のファンと外部へ放出するファンを有すること。
- 1-9 薬液注入ポンプは機器側で薬液の粘性や比重を記憶させ、設定を1ml単位で調整できる機能を有すること。
- 1-10 ベッド1台当たりの工程所要時間はプログラムにより、任意に設定・変更が可能なこと。
- 1-11 洗浄槽の有効寸法(被洗浄物有効寸法)は、幅1200mm×奥行き2300mm×高さ2000mm以上であること。
- 1-12 装置の設置寸法は標準で幅3400mm×奥行き3800mm×高さ3010mm以内であること。
- 1-13 装置の主要部材質はドイツ標準化機構DIN1.4031(SUS304相当)であること。
- 1-14 装置洗浄槽の扉は全面ガラスの二重断熱ドアで、扉の開閉は洗浄槽の内部に収納する機構を有すること。
- 1-15 洗浄・すすぎノズルは洗浄槽内部の左右に洗浄ノズルバー4本以上とすすぎノズルバー4本以上を具備しており、1本のノズルバーに11個以上のノズルを具備して計88個のノズルを有すること。
- 1-16 洗浄・すすぎムラおよび洗浄・すすぎ死角を防ぐ機能として、左右の洗浄・すすぎノズルバーが前後方向にリニアに線形移動しながら洗浄・すすぎをする機能を有すること。
- 1-17 乾燥状態を良好にするために、洗浄・すすぎ工程後にそれぞれベッドを乗せたベース部分が傾斜すること。またベッドの耐熱温度75℃以下で温風乾燥をする機能を有すること。
- 1-18 洗浄剤・すすぎ剤は吸い込みポンプにそれぞれフローメーターが装備され洗浄剤・すすぎ剤の定量管理ができる機能を有すること。

- 1-19 安全機能として、操作パネル部と洗浄槽内部に視認性の優れた緊急停止スイッチを有すること。
- 1-20 トラブルが発生した場合に、その部位のエラーコード番号と日本語で表示する機能を有すること。
また工程進捗状態を表す工程ステータスディスプレイが赤く点滅する機能を有すること。

(機器の性能、機能以外に関する要件)

1. 設置条件については以下の要件を満たしていること。

- 1-1 搬入、据付、配管配線に伴う費用は納入業者の負担とすること。
- 1-2 購入基準に満たない装置については、基準達成まで調整、交換を行うこと。
- 1-3 機器を円滑に使用できるよう関係者に対する教育訓練を行うこと。
- 1-4 機器の納入及びメンテナンスにおいて知り得た本院の業務上の機密及び個人情報について、これを第三者に漏洩ならびに他の目的に利用しないこと。
- 1-5 取扱説明書、操作マニュアル等は全て日本語版で必要部数提出すること。
- 1-6 調達物品は入札時点で製品化されていることを原則とし、もしも入札時点で製品化されていない物品で応札する場合は、技術的要件を満たすことの証明および納品日までに製品化され納品できることを証明する資料及び確約書を提出すること。
- 1-7 入札機種のうち医療用具に関しては、薬事法の承認を得た物品であること。

2. 障害支援体制については以下の要件を満たしていること。

- 2-1 障害時対応として、修理部品が用意されていること。
- 2-2 装置が正常に動作するように定期点検が行える体制を有すること。
- 2-3 納入検査後1年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応ずること。
- 2-4 障害時において、復旧のため通報を受けてから遅くとも24時間以内に、早急に現場で対応出来る体制を有すること。

3. 納入期限

- 3-1 平成32年2月28日までに納入すること。

4. その他

- 4-1 機器のうち医薬品医療機器等法に基づく製造承認が必要な医療機器に関しては、入札時点で同法に基づく製造の承認を得ている物品であること。
- 4-2 運搬、据付調整、検査及び職員研修にかかる諸経費はすべて受注者の負担とし、機器の運搬、設置及び据付調整は所定の位置に納入期日までに速やかに行うこと。